

きらめき

発行
東北情報インフラユニオン
仙台市若林区新寺一丁目2番7号
TEL: 022-297-5196
FAX: 022-297-5198
発行責任者: 村上 良智
編集責任者: 齊藤 慎也

通建連合『安全衛生強化期間』の取り組み結果について

通建連合は、全国的に重症事故に繋がりにくい転倒・転落事故等が依然として後を絶たず、これまで発生している同種の事故が発生し、いずれの事故も要因を見れば作業員自身の近道行動や不安全行動、作業手順の誤りに起因するものが多くなっていることから、改めて現場第一線における安全意識の向上と決して事故を起こさない安全風土の醸成が極めて重要であると判断し、1月17日～2月28日の期間において通建連合「安全衛生強化期間」を設定し、安全グッズを配布しながら安全労働に向けた注意喚起を行うとともに「魅力ある通建業界」を目指し、現場第一線における意見収集（アンケート）を実施することとしました。

※アンケートにご協力頂いた皆様への「QUOカードPAY」の発行については、4月上旬～中旬で準備を進めておりますので、もうしばらくお待ち下さい。

インフラ東北としては、東北管内において事故が断続的に続いている現状を重く受け止め、安全意識の向上・啓発に向けた取り組みとして朝礼等の場において通建連合作成の安全グッズを手渡ししながら安全労働に向けた注意喚起を実施するとともに、現場第一線の方々との対話を重視した労使合同パトロールを実施してきました。パトロールの様子は下図の通りです。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

安全グッズ（除菌ウェット）



＜パトロール実施模様＞



今年に入り転落・転倒といった人身事故が全国各地で発生しており、その多くは重大事故となっております。各種事故事例を決して「対岸の火事」とすることなく、個々人が「自分の職場からは事故は発生させない」との強い気持ちで作業に従事して頂き、日々皆さんの帰りを待っている家族のもとへ“笑顔”で帰りましょう。

春の全国交通安全運動

内閣府は、広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進することにより交通事故防止の徹底を図ることを目的に運動に取り組むこととしています。

◆運動期間

令和4年4月6日(水)～15日(金)
までの10日間

交通事故死ゼロを目指す日 4月10日(日)

◆運動の重点項目(全国)

- ① 子供を始めとする歩行者の安全確保
- ② 歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上
- ③ 自転車の交通ルール遵守の徹底と安全確保



上記の全国重点項目のほか、地域の運動重点については都道府県が地域の交通事故実態等に即して必要に応じ地域重点項目を定めることとなっております。

交通ルール みんなで守って事故のない社会へ!

子供を始めとする歩行者の安全確保

歩行者も交通ルールを守ろう!

入園・入学を迎える4月以降に幼児・児童の歩行中の交通事故が増えています。横断歩道では信号が赤色のときは必ず立ち止まり、青色のときは右と左をよく見て、車が来ないことや横断歩道近くに車が停車したことを確かめてから渡りましょう。

「ゾーン30プラス」で安全・安心な通行空間を!

最高速度30キロの区域規制とスムーズ横断歩道等を適切に組み合わせることで、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間を目指しています。地域・家庭で通学路等の安全を日頃から確認しましょう。

歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上

横断歩道は歩行者優先!

横断歩道は歩行者優先です。運転者には横断歩道手前での減速義務や停止義務があります。歩行者や他の車両に対する「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持って運転しましょう。

安全運転サポート車を選ぶ!

高齢運転者の交通事故防止対策の一環として、衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い急発進抑制装置等の先進技術で運転者の安全運転を支援してくれる車を推奨しています。

飲酒運転を絶対にしない・させない!

アルコールは少量の摂取でも安全運転に必要な情報処理能力、注意力、判断力などが低下し、交通事故の危険性を高めます。飲酒したら絶対に車を運転してはいけません。

自転車の交通ルール遵守の徹底と安全確保

自転車は車のなかまです!

自転車は道路交通法で軽車両に位置付けられた「車のなかま」です。交通ルールを守り、安全運転を心掛けましょう。

交通ルールを守りましょう!

- ① 自転車は車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行

- ④ 安全ルールを守る
 - ・飲酒運転、二人乗り、並進の禁止
 - ・夜間はライトを点灯
 - ・交差点での信号遵守と一時停止、安全確認
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用